

南海地震に備える

香川県防災局 乃田 俊信

<4>

南海地震の被害予測

【想定される南海地震の規模】

次の南海地震は、安政南海地震と同規模のM(マグニチュード)8.4と想定されています。

この地震による推定震度は香川県全域で5弱～6強であり、山地などでは5弱～5強、平野部を中心に広い範囲で6弱が予測されています。なお、高松市、東かがわ市、三木町の一部では震度6強になると予測される所もあります。

また、この地震により津波が

発生し、その波の高さは、沿岸部のほぼ全域で1層前後、一部で2層程度と予想されています。

【南海地震の被害の特徴】

この地震は、非常に広い地域で各種の被害が重なりと予想されており、次のような特徴があります。

①非常に強く数分以上の長い揺れが広い地域で起き、このため建物の倒壊や火災の発生、交通遮断、ライフラインの停止などが起きる(普通の地震では、長く感

地震まめ知識 ②

【マグニチュード(M)と震度】

「マグニチュード(M)」

- 地下で発生する岩盤のずれが大きい小さいかを表す数値
- 地震発生時のエネルギーの大きさ

「震度」

- ある地点の地面がどの程度揺れたかを表す数値
- 0～4、5弱、5強、6弱、6強、7の10階級

※「マグニチュード(M)」＝【原因】↔【震度】＝【結果】

⑤東南海地震・東海地震と連動すれば、余震などで被害が拡大するおそれがある

【南海地震による被害予測】

次の南海地震による被害は県全体で、建物の全半壊が2万棟以上、人的被害は死者約2000人、負傷者約3300人で、避難者も1万人を超えると予測されています。

この数値は、火気の使用率が高く、火災が多く発生して全体の被害が大きくなる「冬季の夕刻」に地震が発生した場合のもので、津波による被害については、予想到達時刻から全員の避難が可能であると考え、死傷者をゼロとして計算していますが、避難が不十分な場合は犠牲者が増えるおそれがあります。しかし、この予測は現状の防

■震度とその影響(めやす)

震度	影響(めやす)
5弱	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人が身の安全を図ろうとする ●食器や本が棚から落ち、家具が動くこともある ●窓ガラスが割れることがある
6弱	<ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる ●家具の多くが移動・転倒、開かなくなるドアが多い ●耐震性の低い住宅は転倒するものがある。また耐震性の高い住宅でも壁や柱が破損するものがある。
7	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意思では動けない ●耐震性の高い建物でも傾いたり、大きく破損したりするものがある ●大きな地割れや山崩れが発生する

災対策を続けた場合を前提としたものですので、防災意識を高め、防災対策を十分に行うことにより被害を減少させることができます。

【次号のテーマ】

次号では、11年前に発生し、私達が災害派遣活動に参加した阪神・淡路大震災の様子についてお話しします。